

## 行革を進め、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！ 5th stage

### 1 SDG s など時代の変化を捉え、持続可能な行財政運営を行います。

- 行政創革プラン（2020～2024）を着実に実行するとともに、持続可能なまちづくりを意識した新たなプラン（2025～2029）を策定します。
- 財政秩序を守りながら健全性を保つ新たな財政運営計画を策定します。

### 2 あらゆる課題に対し、迅速に対応する柔軟な組織編制に取り組みます。

- 行政課題に応じた政策立案を行う組織体制を構築します。
- 人口減少時代においても快適な暮らしを守るため、まちづくり関連の計画の内容を遂行するチームを構築します。

### 3 データとデジタル技術を活用し、市民の利便性向上を図ります。

- ビッグデータの活用やスマートシティの推進など、デジタル田園都市国家構想に基づき、デジタルの活用により地域課題を解決します。
- 地域BWA（広帯域移動無線アクセス）を活用して市全域の高速通信化を図り、新たな形の行政サービスを提供します。

### 4 民間活力導入や広域連携を進め、施策効果を高めます。

- 市民の利便性向上を目指し、指定管理者制度や業務委託等の民間活用を拡大します。
- 定住自立圏を始めとする広域連携による共同運用化を進め、施設更新費用の削減や業務の効率化を図ります。

### 5 公有財産の有効活用に取り組み、維持管理経費を削減します。

- 市役所本庁舎や学校施設等の利用範囲を拡大します。
- 公共施設適正配置基本計画を見直し、少子高齢化・人口減少社会に対応した施設管理を行います。

## 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苫小牧 導きます！5th stage

### 1 産業集積状況等の利点を活かし、人や投資をさらに呼び込みます。

- 旧サンプラザビル問題の解決を図り、苫小牧駅を中心とした「まちなか」の価値と存在感を高め、人が集う機会を創出します。
- 創造産業の誘致や起業支援等、仕事の多様化を進めて生産年齢人口の増加につなげます。

### 2 アフターコロナを見据えた経済再生と、20年先を見据えたまちづくりに取り組みます。

- 国際リゾート構想実現に向けた統合型リゾート（IR）誘致活動の継続、都市再生コンセプトプランに基づくまちづくりを推進します。
- 地元企業の経営支援、地場産品の販路拡大に向けた連携を強化し、市内経済の活性化を図ります。

### 3 ダブルポートを有効活用して人流を活性化させるとともに、物流機能の強化を図ります。

- 苫小牧港と新千歳空港の機能連携を図り、国際競争力を高めます。
- 北海道クールロジスティクスプレイスを核とした食のロジスティクス機能を強化するとともに、東南アジア向けの新規航路開設を目指します。

### 4 とまこまいが持つポテンシャルを活かし、さらなる魅力の向上により地元愛を育てます。

- 馴染みのあるコンテンツを活用し、とまこまいならではの魅力を深掘りします。
- みなとエリアの賑わいづくりに取り組み、ウォーターフロントの魅力を高めます。

### 5 誰もが働きやすい環境づくりの取組を強化します。

- 資格取得等人材育成への支援を強化し、都市部への人材流出を防ぎます。
- 多様化する社会の変化に対応するため、女性や若者のさらなる社会参加を促します。

政策Ⅲ お年寄りや子どもたちが安心して暮らせるまち苫小牧 育てます！ 5th stage

1 ふくしの心が行き届き、誰もが孤立することなく、心豊かに暮らせるまちを目指します。

- ふくし施策の柱となる計画、制度やシステムの整備を進めます。
- より良いふくしサービス提供に向けた支援の拡充を図ります。

2 高齢者、障がい者、子どもや若者など多様な主体が交流・共生するまちづくりを進めます。

- 必要に応じた医療・介護を受けながら、最期まで暮らせる住まいの整備やあらゆる世代と交流し、ともに支え合える地域づくりに取り組みます。
- ウィズコロナ時代における地域活動、地域参加、地域における様々な課題解決に向けた支援を行います。

3 出産・育児を支援し、子育て世代の応援と健全育成に取り組みます。

- 出産・育児等に必要な費用の支援を強化し、子育ての負担を軽減します。
- 子ども・若者の健全育成支援のための連携体制を整備します。

4 安全で快適な都市環境の整備に取り組みます。

- 通院時や入院時の不安を解消するため、医療施設の整備を進めます。
- 公園の機能を最大限に活用し、市民生活に潤いを与えます。

5 市民の生命・財産・安全を守る施策に取り組みます。

- 市民生活の安全・安心を確保するため、社会問題化する課題にスピード感を持って対処します。
- 健康寿命北海道ナンバー1の市を目指した取組を進めます。

## 自然を生かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！ 5th stage

### 1 温室効果ガス実質排出量ゼロを目指します。

- ゼロカーボン実現に向け、市民や企業市民の意識醸成を図ります。
- 再生可能エネルギーの導入に向け、企業市民を支援します。

### 2 ごみの減量、リサイクルの推進、まちの環境美化を追求し、ゼロごみのまちを目指します。

- 食品ロス削減などにより、ごみの減量を図り、ごみ処理施設の温室効果ガス排出量を削減するとともに施設のさらなる延命化に取り組みます。
- プラスチックごみの削減の推進により海洋プラスチック問題に取り組むとともに、町内会や商店街と環境対策の連携を強化します。

### 3 クリーンでみどり豊かなまちをつくります。

- 市民が草木を育み、緑や花を感じることができる取組を展開します。
- 森林を活用した地球温暖化対策に取り組むとともに、苦小牧の自然の魅力を発信します。

### 4 市が率先して気候変動危機対策の強化を進めます。

- 公共施設や公用車からゼロカーボン化に取り組み、民間への波及を促します。
- 市役所内タスクフォース、プロジェクトチームを機能させ、事業を効果的に推進します。

### 5 良好な自然環境の保全と活用に取り組むとともに、野生動物対策を強化します。

- 苦小牧の景勝地において、環境保護と有効活用が両立できる整備に取り組みます。
- 抜本的な捕獲強化に向け、鳥獣被害対策を実施します。

心の通い合う、優しい音楽の流れる暖かなまち苦小牧 愛します！ 5th stage

1 男女平等参画都市宣言の理念を踏まえまちづくりに取り組みます。

- 多様性を認め合う環境づくりと偏見・差別のない社会を実現します。
- 女性や外国人の活躍を推進する施策に取り組みます。

2 将来の国際交流の進展を見据え、まちの国際化を推進します。

- 多言語での情報発信により、在住外国人の支援や外国人観光客の誘致を推進します。
- 身近に英語を学べる環境を整備します。

3 スポーツや文化芸術の振興を図り、心と体の健康づくりを支援します。

- 老朽化した施設の改築計画策定に取り組みます。
- 美術博物館の企画・展示の充実を図り、身近に文化芸術に触れる環境を提供するとともに、文化遺産を後世に引き継ぐための施策を展開します。

4 子どもたちの学習環境を整え、社会で自立して生きる能力を養います。

- 学校施設・設備の充実を図るとともに目指すべき方向性を示して学力向上を図ります。
- 地域の実情に応じた教育環境を提供します。

5 誰もが学ぶことができ、参加できる喜びが得られる事業を実施します。

- 市民が気軽に参加できるイベントや講座の充実を図ります。
- 時代の変化への市民理解を促し、他人を理解し合える優しい社会を作ります。